

カリキュラム一覧

回数	日時	講師	内容
1回目	6月13日(土) 10時～12時 ※12時半～交流会	澤田 道夫氏 (熊本県立大学総合管理学部教授)	地域における女性リーダーの役割/WSの進め方(基礎) ◇オリエンテーション ◇交流会
2回目	7月11日(土) 10時～12時	野田 恭子氏 (Career Wave代表/熊本大学非常勤講師)	世界にアンテナを張って生きよう! 2020は飛躍の年! ◇写真撮影 日程変更予定
3回目	8月8日(土) 10時～12時	越地 真一郎氏 (NIE ファシリテーター)	“知の素っぴん力、を磨こう ～仕事力アップのための情報発信・活用術～
4回目	8月29日(土) 10時～12時	伊藤 比呂美氏 (詩人/早稲田大学文学学術院教授) 大場 隆氏 (熊本大学病院産科婦人科准教授)	※公開講座 「女の一生。カラダだって、山あり、谷あり」
5回目	9月12日(土) 10時～12時	八幡 彩子氏 (熊本大学大学院教育学研究科教授)	女性の生き方とワークライフバランス
6回目	10月10日(土) 10時～12時	平野 みどり氏 (元県議会議員)	女性の政治参加で多様なある議会に
7回目	11月14日(土) 10時～12時	森 あい氏 (弁護士/くまにじメンバー)	多様性を認め合う社会～LGBTの基礎知識
8回目	12月12日(土) 10時～12時	谷口 絹枝氏 (日本近代文学研究者)	女性の人権と男女平等 ～映画を通して考えるベアテ・シロタ・ゴードンの功績～
9回目	1月9日(土) 10時～12時	宮本 真紀氏 (第5期修了生 /電話対応コンクール全国大会優勝者)	【修了生に学ぶ】 心が伝わる電話対応スキルを身につけよう
10回目	1月23日(土) 10時～12時半 ※12時半～交流会 時間変更検討中		成果発表会&修了式 ◇交流会 検討中

※本カリキュラムは事情により、変更になる場合がございます。

POINT 1

県内外の経験豊かな講師陣から男女共同参画の現状やリーダーに必要な考え方やスキルを学べる

POINT 2

職業・世代を超えた女性のネットワークを構築できる

POINT 3

希望者には、男女共同参画に関する県外研修の費用を一部助成

POINT 4

期を超えた過去修了生との交流・活動の場、フォローアップ講座の提供

修了生の声

※受講感想より抜粋

1期生

上田 隆子さん



最初は、専業主婦の自分が学んでいいのだろうか?と気後れしてました。受講を重ねるうちに、専門知識を持っている人だけでなく「主婦であること」「主婦の視点」というのも大切なことだと改めて気づかされました。

2期生

大塚 真弓さん



改めて思ったのは、教育の大切さ。学校現場ではぜひ、性別にかかわらず、一人ひとりの個性や能力を大切にすることを大事にしたいと思います。また受講生の皆さんとの交流は、私の財産となりました。

3期生

田上 寛美さん



もともと女性支援は注目していましたが、私自身、女性として、母として、社会人として、改めて何かを必要か考える機会となりました。講師や女性たちとの出会いにより、視野が広がり、前に進む勇気をいただいたのも収穫です。

4期生

運天 佳菜さん



きっかけは、育休後の職場での役割や、仕事と子育ての両立の不安もあり、何かプラスになる学びができればと思ったこと。グループワークや講座の中で女性の社会進出や男女共同参画という学びだけでなく自分の得意分野・苦手分野を見つめ直すきっかけにもなりました。

5期生

溝尻 亜由美さん



「自分の意見を堂々とと言える、格好良い女性になりたい。」
ウィメンズカレッジの最初のオリエンテーションで、ファイルの1ページ目に書いた言葉です。カレッジで得た知識やスキルを今後、仕事や家庭、地域でどう生かそうかとワクワクしています。

6期生

豊田 直子さん



受講当初は、社会課題の解決はすごい人・できる人がするものだと考えていました。だから私が関心を持っていても仕方ない、と目を向けていませんでした。しかし受講していくうちに、私たち一人ひとりが問題に目を向けることが大事なのではないか、と考えるようになりました。

講師紹介



6/13
(土)

女性リーダーの役割

澤田 道夫氏 (熊本県立大学総合管理学部教授)
東京外国語大学卒業。石油公団勤務後、熊本県庁へ。2019年4月から現職。専門は行政学、参加・協働論、組織管理理論。熊本市行政改革推進委員会会長・熊本市区役所等の在り方に関する検討会座長などを務める。



7/11
(土)

グローバルな視点

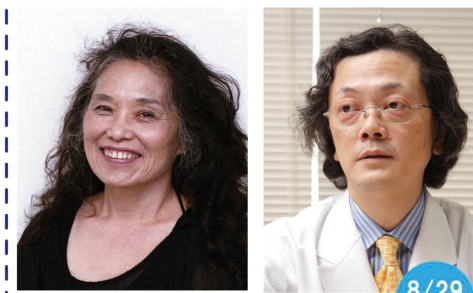
野田 恭子氏 (Career Wave代表/熊本大学非常勤講師)
在米27年のキャリアを生かし、グローバルな視点から、次世代観光人財育成と、熊本地震後の観光復興促進、地域経済活性化に尽力。また異文化相互理解と多文化共生などの啓発に力を入れている。NGO国連女性の地位委員会ニューヨーク個人メンバー、熊本県男女共同参画審議会委員。



8/8
(土)

情報発信

越地 真一郎氏 (NIE ファシリテーター)
熊本日日新聞社の記者を経て現職。新聞を学習やビジネスなどに活用するNIE講座を各地で開催。熊本大学客員教授、日本NIE学会理事、熊本市男女共同参画会議委員なども務める。
※NIE(エヌ・アイ・イー)とは「Newspaper in Education」(教育に新聞を)の略。



8/29
(土)

女性の人生と健康

伊藤 比呂美氏 (詩人/早稲田大学文学学術院教授)
1955年東京都生まれ。青山学院大学卒業。「ラニーニヤ」で野間文芸新人賞、「河原荒草」で高見順賞、「とげ抜き新築鴨地蔵縁起」で萩原朔太郎賞、紫式部文学賞を受賞。2019年第二回種田山頭火賞を受賞。

大場 隆氏 (熊本大学大学院生命科学研究部 産科婦人科学講座准教授)
専門分野 産科産婦人科、生殖内分泌学、遺伝カウンセリング。



9/12
(土)

ワーク・ライフ・バランス

八幡 彩子氏 (熊本大学大学院教育学研究科教授)
熊本市(植木町)生まれ。お茶の水女子大学大学院家政学研究科家庭経営学専攻修了。2018年4月から現職。熊本大学教育学部附属特別支援学校校長併任。熊本大学キャリア科目「女性のライフコースとキャリア」オーガナイザー。



10/10
(土)

女性の政治参画

平野 みどり氏 (元県議会議員)
熊本県議会初の車いすユーザーとして1997年に当選。ジェンダー平等の視点で子育て、教育などの課題に取り組む。2015年に引退。現在は、認定NPO法人DPI(障害者イタナショナル)日本会議議長。障害者運動に軸足を置き、特に障害を持つ女性たちの直面する「複合差別」や「優生思想」の問題に取り組んでいる。



11/14
(土)

LGBT

森 あい氏 (弁護士/くまにじメンバー)
共編著『セクシュアル・マイノリティQ&A』(弘文堂)、共著『暴力 DVIは異性間だけの問題か?』(『セクシュアリティと法 身体・社会・言説との交錯』法律文化社)
※くまにじは、熊本をセクシュアルマイノリティにとっても、住みやすい場所にするための市民グループ。



12/12
(土)

女性の人権

谷口 絹枝氏 (日本近代文学研究者)
主に佐多稲子や石牟礼道子など女性作家を研究。複数の大学で文学の他、ジェンダー学を担当。著書に『蒼空の人・井上信子一近代女性川柳家の誕生』など。2005年「ベアテの贈り物」熊本上映会代表。
※ベアテ(シロタ・ゴードン)は、男女平等を日本国憲法に書いた人物。



1/9
(土)

【修了生に学ぶ】コミュニケーションスキル

宮本 真紀氏 (第5期修了生/電話対応コンクール全国大会優勝者)
大同生命保険株式会社所属CX向上スペシャリスト。電話対応技能検定指導者級。電話対応コンクール熊本県大会4連覇後、令和元年に悲願の日本一に輝く。第5期(2018年)ウィメンズカレッジ修了生。